



平成19年度から平成26年度までの 取り組みの結果を紹介するよ。

水道事業運営の指針を示すために平成19年度からの8年間を計画期間として策定した、「新潟市水道事業中長期経営計画～マスタープラン～」が、平成26年度で終了しました。主な事業・取り組みの結果を紹介します。



厳しい基準で安心安全

施策目標1 安全でおいしい水の供給

新潟市独自の水質目標の設定と管理

残留塩素達成率

国の目標値 1mg/L以下
独自目標値 0.5mg/L以下

平成18年度 78% → 平成26年度 90%

臭気強度達成率

国の目標値 3以下
独自目標値 2以下

平成18年度 98% → 平成26年度 100%



国が定めた管理目標値よりも厳しい独自の目標値を設定しています。

より地震に強い施設へ

施策目標2 いつでもどこでも必要水量を供給

石綿セメント管更新事業

平成18年度末
残存延長
約120km
finish! → 平成26年度
完了

青山浄水場施設整備事業 (第1期工事)

平成22年度
工事着手
finish! → 平成26年度
完了

耐震適合性を有する管路延長率(全管路)

平成19年度
(適応年度)
52.3% → 平成26年度
66.0%

配水池の耐震施設率

平成18年度 26.4% → 平成26年度 71.7%



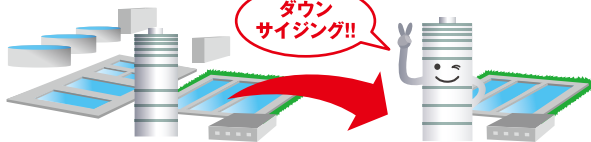
●強度が弱く破損率が高い石綿セメント管を耐震管に取り替えました。
●耐震診断や老朽化の進んだ施設の更新を行いました。

より効率的な運営

施策目標3 水道事業の運営基盤の強化

平成18年度末施設能力
13浄水場
567,732m³/日
↓
浄配水施設の統廃合
↓
平成26年度末施設能力
6浄水場
440,000m³/日

ダウン
サイジング!!



施設最大稼働率

平成18年度 63.8% → 平成26年度 72.3%

施設利用率

平成18年度 53.9% → 平成26年度 63.5%

定員の適正化

職員数

平成18年度 404人 → 平成26年度 345人

企業債(借入金)残高削減への取組み

企業債(借入金)残高

平成18年度 約568億円 → 平成26年度 約453億円

有収率

平成18年度 93.3% → 平成26年度 94.5%

浄配水場などから配水した水量に対し、料金の対象となった水量の割合。

お客さまの利便性向上

施策目標4 お客さまの視点に立った経営

隔月検針毎月徴収制度の 効果的運用

隔月検針毎月徴収制度利用率
平成22年度 5.4% → 平成26年度 15.7%

お客さまコールセンターの 効果的運用

コールセンターによる応答率
平成21年度 87.94% → 平成26年度 96.44%



隔月検針毎月徴収制度・
お客さまコールセンターの案内は巻末へ

環境にやさしい

施策目標5 環境に配慮した事業運営

太陽光発電設備の導入拡大

再生可能エネルギー利用率

平成18年度 0.19% → 平成26年度 0.37%



節水器具の普及や節水意識の浸透、生活様式の変化などに伴い、事業収入の大部分を占める料金収入の減少が続くなか、現行の料金(平成13年4月改定^{*})を維持しながら、各事業・取り組みを積極的に推進しました。今後は、平成27年度からの「新・新潟市水道事業中長期経営計画～新・マスタープラン～」の計画に沿って、より一層効率的な事業運営に努めていきます。

^{*}消費税率変更に伴う改定を除く

「新潟市水道事業中長期経営計画～マスタープラン～」および「新・新潟市水道事業中長期経営計画～新・マスタープラン～」については、水道局ホームページにて公開しています。

お問い合わせは ☎ 0120-411-002 水道局経営管理課へ